

# 南関東防衛

平成27年  
夏号

平成27年夏号 年4回発行 第8号

## 特 集

- 在日米軍施設・区域の返還（上瀬谷通信施設）
- 沼津海浜訓練場におけるビーチング訓練
- 自衛隊統合防災演習
- FMブルー湘南「遊びに来ませんかスタジオへ」



# 在日米軍施設・区域の返還（上瀬谷通信施設）

## ■上瀬谷通信施設の全部返還

日本と米国との間では、必要のなくなった在日米軍施設・区域は日本に返還することとされています（日米地位協定第2条第3項）。

本年6月30日、横浜市瀬谷区に所在する在日米海軍上瀬谷通信施設が全面返還されました。横浜市内における在日米軍施設の返還としては最大規模となるものです。

本号では、このほか、過去に返還された跡地がどのように活用されているかについて、旧海浜住宅地区及び旧山下地区の跡地を例に紹介します。



本年6月30日、丸井南関東防衛局長は、横浜市庁舎に林横濱市長を訪ね、上瀬谷通信施設が全部返還されたことを伝えました。

林市長からは「返還は長年にわたり地域や市民の皆様にとつての悲願。返還される面積は市内で過去最大で、この地が有する大きなポテンシャルを活かせるよう、有効な跡地利用に向けて、土地所有者・市民と一緒に取り組んでいく」との決意が示されています。

上瀬谷通信施設については、平成26年4月の日米合同委員会において、本年6月末までの返還を目処に、近い将来返還に向けた手続きを開始することが合意されていたところ、米側より本年6月30日に返還することについて通知があり、横浜市及び神奈川県に、この旨お知らせしていました。



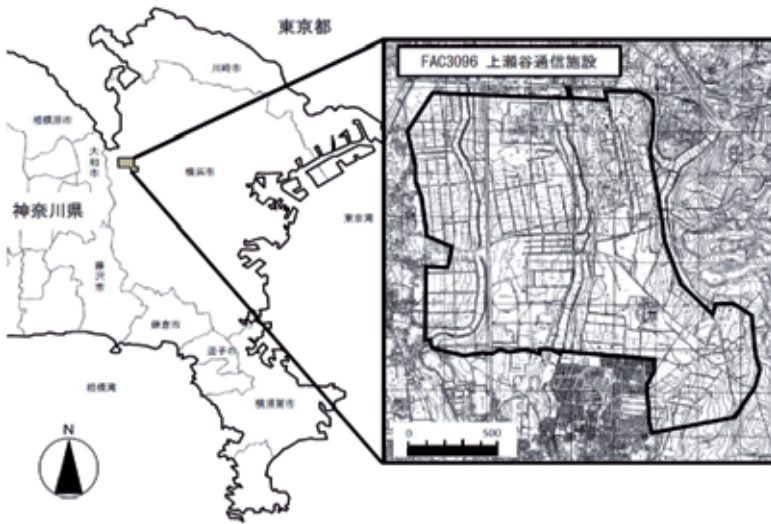
横浜市市長に返還を伝える丸井局長

上瀬谷通信施設は、在日米海軍厚木基地が管理する施設区域です。

昭和20年に旧日本海軍の倉庫施設が接収されたもので、昭和22年10月に接収が解除されましたが、後に再接収されており、面積は約242ヘクタールで、その内訳として約110ヘクタールが国有地、約110ヘクタールが公有地、約110ヘクタールが民有地となっています。

また、平成16年10月の日米合同委員会において返還方針が示されていた横浜市内に所在する6施設・区域（合計・約419ヘクタール）の中で、約58%を占めているものです。

平成16年時点で横浜市内に所在していた在日米軍施設のうち、約375ヘクタールが返還されたことになりました。



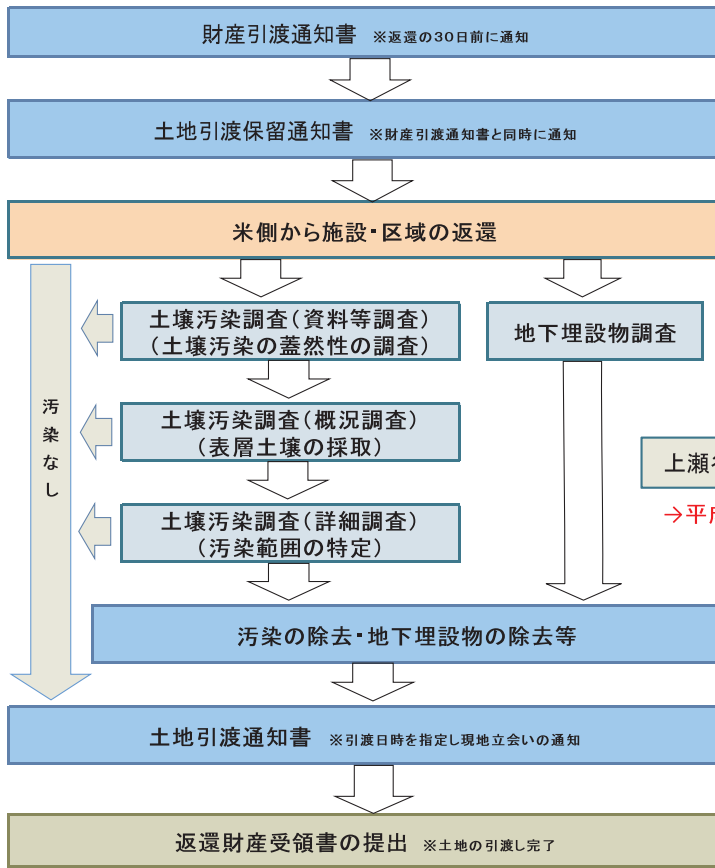
上瀬谷通信施設ゲート



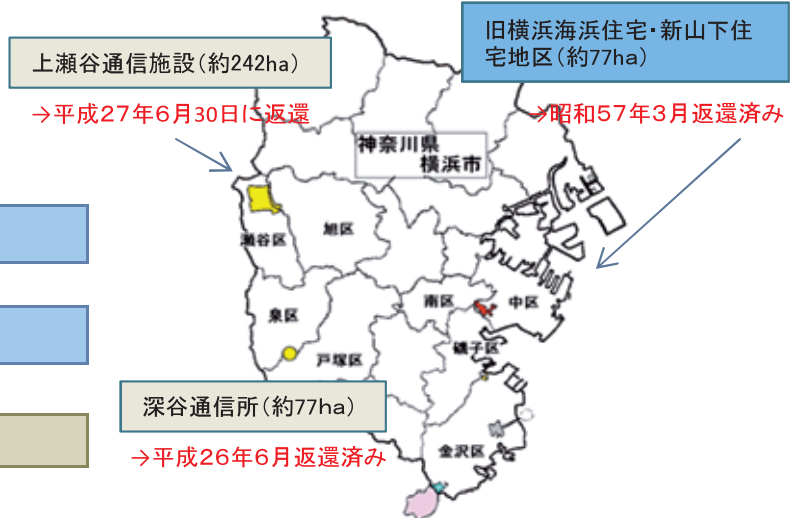
上瀬谷通信施設海軍道路



上瀬谷通信施設の民有地引渡しに係るフローチャート



【民有地の引渡しについて】  
民有地については、「上瀬谷通信施設の民有地引渡しに係るフローチャート」（左図参照）にあるとおり、米軍から施設・区域の返還後に、土壌汚染や地下埋設物の有無等を確認し、必要に応じて調査を実施したうえで、土地所有者の方々に引渡す予定としており、出来る限り速やかな引渡しが出来よう努力していきます。



旧返還地の現況

旧「横浜海浜住宅地区」、  
「新山下住宅地区」の返還と跡地の現況

今から33年前の昭和57年3月に「横浜海浜住宅地区」及び「新山下住宅地区」2施設の77ヘクタールに及ぶ全面返還が行われました。これに先立って横浜市が中心となって国や地権者と調整し、昭和53年に都市計画決定し、返還後ただちに区画整理事業等が実施されました。「横浜海浜住宅地区」の山間部が市民が自然と触れ合える山頂公園地区に、平地部は商業施設及び住宅地の本牧として街づくりが行われ、「新山下住宅地区」は現在の住宅・都市再生機構（UR）が住宅街を建設しました。

本件施設の大規模返還は、長期間の接収、米軍による埋立も含む土地の造成等により接収以前の土地・境界の復元困難に加え、民有地と国有地が不規則に混在する土地形態が跡地利用を困難にしています。行政の「行政施行」と呼ばれる土地区画整理事業で横浜市が国、地元住民、そして寺、神社まで巻き込んだ大幅な人や土地の移動を促し、新たな街を造り出しました。

その一方で、本牧には基地の周辺にあったアメリカンテイストに溢れたレストラン等も僅かに残っています。



米軍基地時代の名残を留める本牧の店



横浜海浜住宅跡地の商業施設



土地区画整理事業の換地により遷座後の本牧神社

沼津海浜訓練場におけるLCAC／水陸両用車ビーチング訓練の実施

静岡県沼津市今沢海岸に所在する沼津海浜訓練場において、陸自…水陸両用車（AV7RAM/RS）の性能を確認するため、同車両が陸上・海上を機動する速度、波を超え、発艦についてのデータを取得し、評価を実施しました。水陸両用車（AV7RAM/RS）は、平成30年度末までに新編される「水陸機動団（仮称）」の装備となる予定です。

当日は、前週末までの台風や悪天候の影響もなく晴天に恵まれ、試験条件として求められる比較的穏やかな海面の中を水陸両用車は沖合の輸送艦から発艦し、諸元どおりの約10km/hで海上を航行して来た後、砂浜に上陸しました。その後、再び砂浜から海中に入り、輸送艦に向けて航行し、着艦等を繰り返し、陸上や海上の支援班・計測班により機動データの取得が行われました。

これと合わせて、輸送艦から発艦したLCACも海岸への上陸、走行といったビーチング訓練を実施しました。午前中から始まった訓練も夕方には舷灯を点けたLCACが海上を疾走し、輸送艦に着艦するまで続きました。今回の訓練においても、地元自治体への説明・情報提供、訓練場使用に当たつての米軍との調整等訓練の円滑な実施のための総合的な支援を実施しました。



輸送艦に向かうLCAC



水陸両用車の上陸風景



水陸両用車



写真左:LCAC, 右:水陸両用車



海上を疾走するLCAC



海上を疾走するLCAC



平成27年度  
自衛隊統合防災演習



(写真: 在日米軍と南関東局防衛補佐官(左から2人目))

自衛隊統合防災演習(JXR)は、大地震発生時における自衛隊の統合運用による指揮所活動を演練し、震災対処能力の維持・向上を図る演習として行われております。

今年度は、6月29日(月)から7月3日(金)までの間、市ヶ谷駐屯地や朝霞駐屯地をはじめ演習参加部隊の所在地等において、首都直下地震を想定して行われました。

同演習では、自衛隊首都直下地震対処計画に基づき、主に、指揮所演習は①発災直後における各幕僚監部と災首都圏統合任務部隊司令部等の指揮幕僚活動、②防災関係機関と在日米軍との連携要領を、実動演習では、部隊等から災首都圏統合任務部隊司令部が置かれた朝霞駐屯地への要員派遣を演練しました。

同演習には、内局、統合幕僚監部、陸上・海上・航空幕僚監部をはじめ、陸・海・空の自衛隊部隊だけでなく、防災関係機関や在日米軍なども参加して行われ、南関東防衛局からは、連絡調整要員として職員を朝霞駐屯地に派遣して、自衛隊等との各種調整について演練しました。



(連絡調整要員: 南関東防衛局職員)

(ソマリア沖・アデン湾での海賊対処行動について)

アデン湾はヨーロッパと中東、アジアを結ぶ海上交通の要衝です。日本は資源の多くを海上輸送により輸入しており、日本にとっても極めて重要な海上交通路です。日本は2009年から護衛艦とP3-C哨戒機を派遣して、商船等の護衛活動と空からの警戒を行っています。また、多国籍軍の第151連合任務部隊(CTF151)に参加し、特定の海域の警戒監視(ゾーンディフェンス)を行っています。

なお、本年5月末からCTF151司令官として海上自衛隊の自衛官が派遣されます。海賊活動が低調になっていますが、日本船主協会などからも海賊対処に万全を期して欲しい旨の要請を受けていますし、NATOやEUが活動を継続していることから、引き続き、関与していかなければならない状況です。

(アデン湾からの帰国途中に從事した国際緊急援助活動について)

昨年12月28日、インドネシアからシンガポールに向かっていたエアアジア機がインドネシア・ボルネオ島西を飛行中に交信が途絶した事案が発生しました。

12月31日、海賊対処行動を終え日本へ移動中のところ、インドネシア国際緊急援助活動が命じられ、所要の補給を済ませて国際緊急援助活動に従事しました。

アジア各国やアメリカ、オーストラリアと一緒に捜索活動に従事することにより、国際貢献に対する我が国の積極的姿勢を、内外に広く理解していただくことができましたと考えています。



写真右から、大川1等海佐、灯織さん、丸井局長

FMブルー湘南  
「遊びに来ませんかスタジオへ」

FMブルー湘南「遊びに来ませんかスタジオへ(防衛トーク)」では、毎月第3木曜日午後3時から丸井南関東防衛局長が出演し、パーソナリティの灯織(ひおり)さんとともに日本の防衛政策などについて紹介しています。

5月21日は海上自衛隊第6護衛隊司令の大川1等海佐をゲストに迎えました。第19次派遣海賊対処行動水上部隊の指揮官を務めた、大川1佐のお話の一部を紹介します。

### 忍野村の特定防衛施設周辺整備調整交付金による「忍野村フィットネスセンター」整備事業

特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して平成25年度より事業が進められていた『忍野村フィットネスセンター』が平成27年3月に完成し、同年5月22日、地元関係者等が多数出席して竣工式が行われました。

フィットネスセンターはカーテンウォールに富士山が美しく映り込むデザインとなっており、地元住民の健康の増進及びスポーツ活動への参加の促進を図り、隣接する忍野村民体育館【当省の民生安定施設の助成事業により整備】等と連係使用することにより地域のスポーツ拠点として、大いに有効活用されることが期待されています。

忍野村フィットネスセンター竣工式



写真：右から2番目：丸井局長、中央：天野村長、右から4番目：後藤村議会議長



忍野村フィットネスセンター外観

### 民生安定助成事業：富士吉田市「ふじさんミュージアム」改修工事

民生安定施設に係る助成（補助金）を活用して改修工事が進められていた「ふじさんミュージアム（富士吉田市歴史民俗博物館）」が平成27年3月に竣工し、同年4月4日、地元関係者等が多数出席する中リニューアル記念式典が行われました。

本ミュージアムは、当省補助金を活用し、富士吉田市歴史民俗博物館として平成5年にオープンし、市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の発展に寄与されてきましたが、施設の老朽化が進み、さらに、近年の施設利用形態の変化やバリアフリー化に対応し、展示面では高度情報化技術を導入するなど施設利用者のニーズに応えるべく改修工事を実施したものであり、今後、より一層の利用促進が図られることが期待されます。



写真上：オープニングセレモニーの様  
様：後列左から4人目丸井局長



写真左：館内のプロジェクションマッピング

### 【在日米陸軍司令官、海兵隊キャンプ富士司令官離任あいさつ】



写真：左ブーザー少将と右丸井局長

6月4日、在日陸軍司令官ブーザー少将、キャンプ富士司令官フルウッド大佐が丸井局長へ相次いで離任の挨拶に訪れました。

局長からは両司令官に我が国の置かれた立場への理解と当局が行う基地行政の円滑な遂行への協力及び地元との交流、相互理解の促進に貢献していただいたことへの感謝状と記念品の授与が行われました。



写真：左フルウッド大佐と右丸井局長



## ルーキー紹介

今回は、南関東防衛局に採用になったフレッシュなルーキー達を紹介します。彼らは、遠く故郷や親元を離れ、社会人としての一歩を踏み出しました。5月下旬、4月に採用となってから二ヶ月ほどが経ち、そろそろ職場の雰囲気にも慣れてきた頃ではありますが、さらに職場の人たちと親睦を深めてもらうため、所属部署の上司や同僚が参加する合同懇親会を行いました。

今後、防衛省・地方防衛局の担い手として、また、楽しく明るく元気良く仕事に取り組んでいただきたいと思いをします。



今年の春から南関東防衛局、防衛事務所の一員となった13名のルーキー達。また、昨年採用の2名のルーキー達を合わせて15名のうち、今号では合同懇親会に参加した11名を紹介しします。なお、今回、ご紹介出来なかった新規採用者(4名)については次号で紹介する予定です。

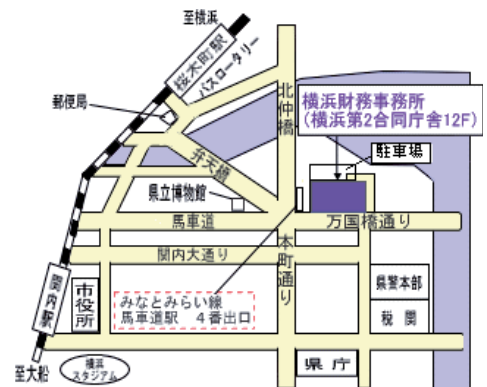
### 採用情報のお知らせ

#### 平成27年度 防衛省一般職(大学卒業程度) 業務説明会

国家公務員採用一般職試験(大学卒業程度) 1次試験受験者を対象とした業務説明会を実施します。当日は、業務説明会と当局職員との座談会が予定されています。

- 日 時：平成27年7月16日(木) 14:00~16:30
- 場 所：横浜地方合同庁舎内：南関東防衛局
- アクセス：JR桜木町 下車 徒歩10分 もしくは みなとみらい線「馬車道駅」下車 徒歩5分

また、南関東防衛局の組織・業務については、南関東防衛局ホームページ (<http://www.mod.go.jp/rdb/s-kanto>)で、「局の概要」「取組」「トピックス」等で紹介しています。当局の実施する業務説明会等に参加出来なかった場合でも気軽にお問合せください。



南関東防衛局所在地：神奈川県横浜市中区北仲通5-57横浜第2合同庁舎  
Tel. 045-211-7133 (人事担当)

イベント情報

## 第26回防衛問題セミナー

入場無料

申込順受付  
240名  
事前予約制

日時：平成27年8月5日（水）開場17:45 開演18:15  
場所：相模女子大学グリーンホール（相模原市文化会館）  
アクセス：小田急線「相模大野駅」下車 徒歩4分

### ① 陸上装備研究所における装備品の研究開発概況

防衛省技術研究本部陸上装備研究所長 山口 弘

大規模災害時に人では困難な各種作業を安全かつ迅速に実施するための遠隔操縦の無人作業車両システム



中継器ユニット(無人車両)

CBRN対応遠隔操縦作業車両システム(遠隔操縦装軌車両)



### ② 防衛産業の現状と未来

防衛ジャーナリスト 桜林 美佐

申込方法：聴講を希望される方は、南関東防衛局のホームページから参加申込用紙を入手し、FAX、E-mail又は郵送でお申し込み下さい。定員に達し、入場できない場合のみご連絡いたします。

お問い合わせ：南関東防衛局 企画部地方調整課 045-211-7102

イベント情報

## 米海軍横須賀基地フレンドシップデー

毎年、横須賀開港祭の花火大会の時期に合わせて、米海軍横須賀基地の一般開放（ヨコスカフレンドシップデー）が実施されます。

基地内ではアメリカ海軍の艦船の一般見学、アメリカンフードのブース等が出展されます。本年は8月1日（土）に実施される予定で開門時間は10時から19時（イベントは20時）までとなっています。

なお、入場は、日本国籍を証明できる写真入りの身分証明書の提示が必要で、運転免許をお持ちの方は合わせて本籍地記載の住民票が警察署で発行する本籍地記載印字票が必要です。

**YOKOSUKA FRIENDSHIP DAY**

Event Date • Saturday, August 1 • 1000 - 2000

Vendor Booth Registration • Monday, June 1 - Friday, June 12

Register your private organization to participate in CNA's largest open-base event of the year. All organizations must be registered, and in good standing with CNA, legal to participate. Mandatory meeting will be held on Thursday, June 11 at 1000 in the Benny Decker Theater. Applications can be found on the MWR Wordpress Blog at <http://mwr.yokosuka.word-press.com/> or via the following link: Yokosuka Friendship Day - <https://www.suneymonkey.com/2015/yokosuka-friendship-day/>.

For more information, please call 243-1215 or email MWR\_SPECIAL\_EVENTS@tc.navy.mil.

南関東防衛局広報紙「南関防衛」平成27年夏号（第8号）平成27年7月10日発行  
年4回発行 編集／発行 南関東防衛局 〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎内  
（お問い合わせ）045-211-7129